

経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県 小城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.97	100.00	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,327	95.81	473.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,400	0.88	6,136.36

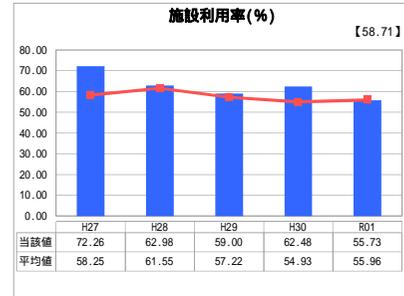
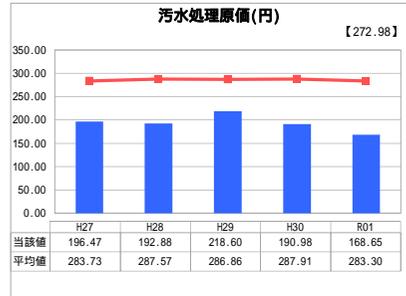
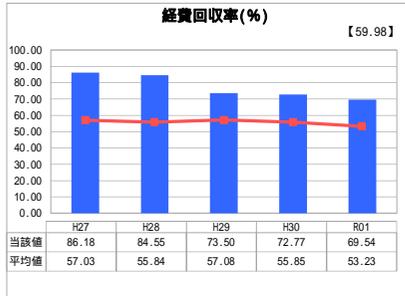
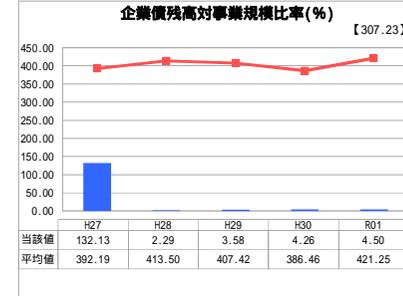
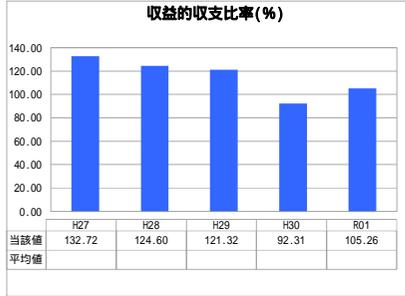
グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

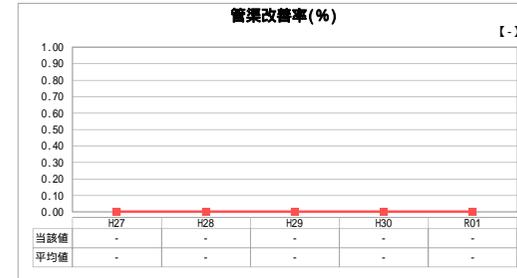
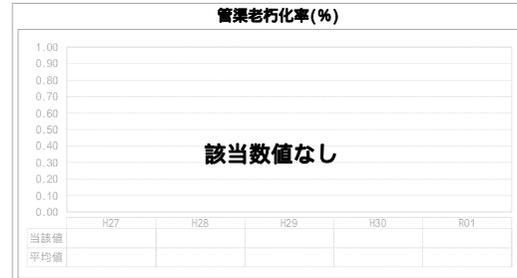
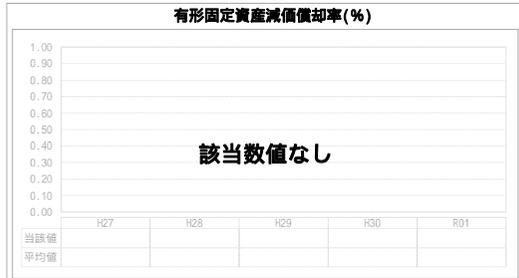
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の特定地域生活排水処理について、収益的収支比率は改善傾向にある。

企業債残高対事業規模比率が、類似団体と比べて著しく低い水準になっているが、起債借入の開始が平成26年からとなっており、今後は起債償還に伴う歳出の増加が見込まれるので、経営改善を図っていくことが必要である。

また、経費回収率、施設利用率は類似団体と比較して効率的な状況である。

しかしながら、経費回収率については年々減少しており、その要因は維持管理費の増加によるものである。

水洗化率については事業開始から数年程度のため低い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

当市の特定地域生活排水処理には市が浄化槽を設置するものと、個人が設置した浄化槽を市に帰属するものがある。

当市で設置した浄化槽は、法定耐用年数を経過したものはない。しかし、帰属を受けた浄化槽については、事前にプロフの部品交換や本体の補修工事をしたものを受け取っているが、経年劣化による修繕が増加してきている。

全体総括

分析の結果、現状の経営は安定しているが、今後課題として、維持管理費及び起債償還額の増加が見込まれる。

今後は、包括的業務委託やPFIなどを検討し、委託業務の効率化により維持管理費の削減につなげていきたい。